

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	県立津山中学校	実践者名	杉山 雄泰
教科等	社会（地理分野）	学年	2年
		授業活用段階 （岡山県版）	Stage 2
育成したい 資質・能力	異なる意見を取捨選択しながら主体的に学ぶとともに、自分の考えを見出し社会的事象に対する思考を深めることができる。		
単元・内容等	世界のさまざまな生活と環境（帝国書院）		
児童生徒の実態 （端末活用頻度等）	Chromebook は多くの教科で使用しているので、問題なく使用することができる。		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

(1) 本時のめあてをつかむ。
「世界のそれぞれの地域には、どのような気候の違いがみられるのだろう。」

(2) クラスを1～10班（各班4人ずつ）に分かれ、4つの雨温図をみて、その雨温図が世界のどの都市の雨温図なのか考え、自分なりの答えとその答えに至った考えを1人ずつ班ごとのスプレッドシートに記入する。



(3) スプレッドシートに書いた答えと考えを班ごとに共有しながら、班としての答えを話し合う。

答え	ブエノスアイレス	北京	マニラ	パリ
考え	まず、Aの都市は南半球であるためブエノスアイレスかキャンベラと考えられる。また、Aの都市は温暖の温暖湿潤気候と考えたため、ブエノスアイレスと考えました。次に、Bの都市は			
答え	ブエノスアイレス	北京	マニラ	パリ
考え	雨温図から、南半球で、キャンベラかブエノスアイレスと考えられる。気候からブエノスアイレスだとかんがえた。			
答え	ブエノスアイレス	北京	マニラ	パリ
考え	気候から、南半球であり、キャンベラの気候ではないと考えた (A) おそらく、温暖湿潤気候ではないかと考えた (B) 降水量の量が多い			

(4) クラス全体でスプレッドシートを共有し、なぜその答えになったのかを発表し合う。

(5) 「世界の気候動画（全5本）」を視聴し、生徒の実態や状況に応じて、復習する。



実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
スプレッドシートを活用したことで、生徒・教師ともにお互いの意見を効率よくかつ自由に共有することができ、短い時間で新たなことに気づいたり、主体的で多面的・多角的に自分の思考を深化させたりすることができた。学級全体での話し合いの際は、考えの異なる生徒を指名できるなど、授業のコーディネートがしやすくなり、さらに話し合いに多くの時間を使うことができるので、より生徒の思考が深まると感じた。	自分の答えや考えを班のメンバーやクラスですぐに共有することができるので、意欲的に取り組む生徒が多く、さらに生徒自身が新たな視点に気づくことができた。また、相手の考えがわかった上で話し合うことができ、より具体的な内容について意見を交換することができた。また、授業でわからなかったことは動画で確認することができたので、生徒からは好評であり、知識の定着につながった。